

# しびる

一般社団法人日本建設業連合会 関西支部

●巻頭対談／近畿の未来 1

2025年万博は大阪・関西をどう変える？

嘉名光市氏×北岡隆司氏

●レポート・最前線 5

JR東海道線支線地下化・新駅設置事業

関西の発展を牽引する  
うめきた地区の基盤を構築

●未来へのとびら 9

〈建築女子〉「スーパー現場監督」になりたい 岩本 真利奈さん

〈土木男子〉人の役に立つインフラづくり 早田 侑平さん

●偉人たちの歴史街道 11

「放出の太閤さん」と呼ばれた

淀川の治水翁・大橋房太郎の偉業

●しびる Walker 15

「最南端」から「最先端」のまちづくりへ

ロケットの町 南紀 串本町

●ランドマーク 19

アクセス性を活かした

健康と文化がテーマのまちづくり

(箕面船場阪大前まちづくり)

●トピックス／歴史のある風景 21



# 歴史のある風景

夢洲夕景シリーズ3  
さきしまコスモタワー展望台く  
パノラマで見渡す”ミライの関西“

咲洲の真ん中にそびえる大阪ベイエリアのシンボル  
さきしまコスモタワーを訪れた。

地上252メートルの全面ガラス張りの展望台へは、  
シースルーエレベーターとロングエスカレーターで向かう。  
眼下に広がるのは360度遮るものない絶景ビューだ。

大阪湾からさらに見渡すと、淡路島や明石海峡大橋、  
関西国際空港などがミニチュア模型のように一望できる。

1995年に建設されWTC（ワールドトレードセンター）として親しまれたが、  
現在は大阪府咲洲庁舎などが入っている。

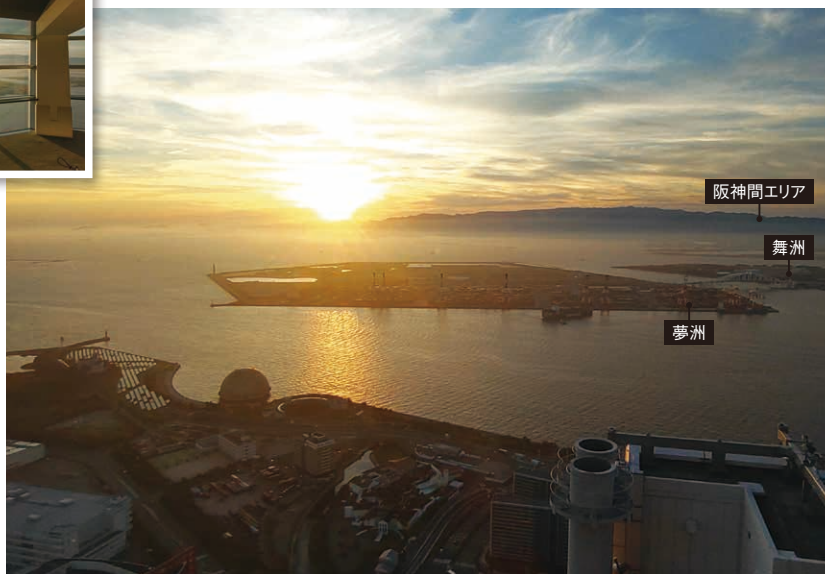
休日には賑わいを見せるフェリーターミナルやATCも目と鼻の先だ。

眼前に広がるのは2025大阪・関西万博会場となる人工島「夢洲」。  
開催まで1000日を切り、鉄道や会場の造成も急ピッチで進んでいる。

ここから見えるのは、万博を契機に生まれ変わる  
ミライの関西なのかもしれない。そんな予感がした。



(上)360度パノラマ展望台  
(下)さきしまコスモタワー



夕映えの夢洲